

## 会 議 要 旨

会議名	令和4年度 館山市スポーツ推進審議会
開催日	令和4年11月11日(金)
開催場所	市役所2号館2階会議室
出席者	館山市スポーツ協会会長：廣中元衛，館山市スポーツ少年団副本部長：押本一美，館山市スポーツ推進委員連絡協議会会長：松坂誠一，館山市ファミリースポーツクラブ”わかしお”会長：鈴木正一，館山スポーツ大使・元2020年東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部本部長：田村悦智子，安房医師会：高幣民雄，館山市議会議員：石井敏宏，館山トライアスロン大使：細田雄一，館山市小中学校校長会：安田淳，
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>1 開会</p> <p>2 教育部長挨拶          教育長が，表彰式典出席のため，教育部長が代役を務める。          この審議会は，スポーツ基本法及び館山市スポーツ推進審議会設置条例に基づき設置している。館山市教育委員会の諮問に応じ，スポーツ振興に関する事項について，調査・審議及びこれらの事項について，答申及び建議する附属機関である。          それぞれの立場から忌憚のない意見と審議をお願いする。</p> <p>3 委員2名の変更</p> <p>4 議事          (1) 報告事項 令和4年度事業概要について          事務局からの説明          今年度の重点施策として，4点。          1点目 「スポーツ健康都市宣言の実践」          コロナ禍における新しい生活様式を踏まえたスマホのウォーキングアプリの活用や，公民館講座としてスポーツ推進委員による運動教室やユニバーサルスポーツの「ボッチャ大会」の開催など，人生100年時代に向けた市民の健康増進を図る。          2点目 「スポーツ観光の推進」          各種スポーツイベントの開催・支援，スポーツ合宿受入れ，サイクルツーリズムを推進し，市外から多くの来訪者を呼び込み，地域経済の活性化に繋げる。          3点目 「スポーツ団体・指導者・スポーツボランティアの育成」          館山市スポーツ協会や館山市スポーツ少年団など各種スポーツ</p>

団体への支援や、指導者やスポーツボランティアの育成といった「支えるスポーツ」の普及促進に努める。

#### 4点目 「スポーツ施設の管理運営」

市民運動場や市民体育館など社会体育施設の適正な維持管理を行い、利用者の利便性・安全性の確保に努めるほか、弓道場や温水プールなど指定管理者制度の導入、市民への学校体育施設開放により、地域に密着したスポーツレクリエーション活動の拠点として、生涯スポーツの推進を図る。

#### スポーツ振興系の今年度の事業概要について 3点

##### 1点目 スポーツイベントの実施状況

一部のイベントにおいては、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により中止となったが、館山わかしおトライアスロン大会の3年ぶりの開催など各イベントを再開。今後のイベントについても、感染対策を徹底した中でイベント開催を進めます。特に来年1月開催の館山若潮マラソンは、検温ブースの設置による健康チェックや競技者、関係者のみでの入場制限、飲食物の提供に関する制限を設け、通常開催で準備を進めている。

##### 2点目 各種団体への補助金交付状況

補助金の額は、いずれも前年度と同額

##### 3点目 運動部活動の地域移行について

運動部活動の地域移行については、令和4年6月にスポーツ庁より検討会議提言が示され、千葉県からは今後の進め方について示されたところである。今後、休日の部活動から段階的に移行を進め、県のスケジュールでは、令和4年度から令和7年度を目標としている。庁内での進捗状況は、1回目の勉強会を8月に教育総務課、スポーツ課、生涯学習課を交えて実施し、2回目の勉強会を10月に実施した。今後、千葉県の説明会や意見交換会の開催に併せ、県内の動向などの情報収集を行うとともに、スポーツ協会、スポーツ少年団、館山ファミリースポーツ“わかしお”の各団体の皆様と情報共有を図っていく。

#### スポーツ施設系の今年度事業概要

##### 本年度実施工事 2件

1件目：市民体育館南側軒天及び外壁改修工事

2件目：市民体育館トイレ器具非接触化改修工事

その他、補修・修繕として14件実施。今後4件を予定。

##### 社会体育施設の今後の方向性

市民運動場、出野尾多目的広場、弓道場、弓道遠的射場は、現施設規模のまま施設を維持保全。

市民体育館、西岬市民体育館、第一柔剣道場は、「今後のあり方について館山中学校の跡地利用を検討する際に併せて協議」する。25m室内温水プール、50mプールについては、現在の指定管理が終了するまでに、「今後のあり方を検討・協議」する。

～意見～

議員A スマホ利用イベントは、地域に密着した場所で操作方法の説明・レクチャーをすれば、参加者が拡大すると思う。

議員B 行政とスポーツ団体が意見を出し合いながら方向性を決めていくと良い。指導者は、資格・免許等が必要であると考え。その資格・免許を取得する際に補助金制度があると良い。

事務局 部活動の地域移行を出来るところからやっていくと、バラバラになる。少し時間をかけても丁寧に行いたい。

議員C 大会出場やクラブチームとの両立など、色々問題が出てくると思う。自分たちの意見も聞いてもらいたい。

議員D 安房地域のやり方、スポーツのやり方を考える必要がある。子どもの減少で、一つの学校で競技人数を確保出来ない現状。どういう風に行うか、スポーツ協力隊の活用など、色々模索してほしい。

事務局 国・県の方針は今年度、協議会立上げを目標。協議会とは、勉強会を終えた市町村担当職員が、協議会に誰を参加させ、協力団体をどこまで入れて、どんな形にしていくかというものを行うもの。協議会設立の際は、各団体様にご協力をお願いしたい。

議員D 高齢者にとって、温水プールは癒し。うまく継続するなり、いい立案で継続するかたちをとって欲しい。

議員E 温水プールは残して欲しい。高齢者用のスロープが必要。部活動の地域移行は、館山市は現実的に難しい感じがあり、勉強会で色々考えて頂きたい。

議員F 部活動は、技術を磨くのもあるが「心」を鍛え作る場でもある。担任と顧問が連携して生徒指導に取り組んでいるので、外部講師との情報共有の仕組みが必要。部活指導希望の教員もいる。館山から南房総でやり方が違わぬよう、安房で同一歩調も大事。他とも連絡を取りながら移行して頂きたい。

(2) 協議事項 各種団体への補助金交付について  
令和4年度は館山市スポーツ協会、館山市スポーツ少年団の2団体に交付。各競技団体へ普及費又は行事費等の名目で活動費を交付。令和5年度の補助金の額については、それぞれ前年度と同額を予定。

全員：異議なし。

(3) 自由討議

議員G JPSO 指導者資格は、今後必ず必要となってくる。オンラインで取得が可能なので、少しでも興味がある人は取得すべき。部活動地域移行に関しては、動きが遅いと感じる。

事務局 県へ質問を投げかけ、じっくりと言っても急いでいる。

議員C 資格は、スポ少でも補助金と自腹で受講。地域移行は、子どもが小学生から中学生に上がるので、そのすり合わせが大変であり色々難しい。

議員B 土日、先生が一指導者として教えるのもありなのでは？子ども中心で考えていかないと、難しい面が多々あると思う。

議員G 温水プールで、月曜から水曜も営業があれば、いろいろな需要の取りこぼさないのではないか。

議員A 各種目、子どもの取り合い。企業が持っている種目で、無料で指導を行う企画がある。そういったものを調べてトライしてみるものいいのではないか。

議員H バリアフリー化とかは、どうなっているか？

事務局 市の施設全ての老朽化が進んでおり、基本建替え時に行う。現施設については必要度の高い施設の改修を行う。25m プールは30年度にスロープ設置。今年度は（市民体育館）多目的トイレ整備を行う。今後、建替え時にバリアフリーを意識した設計を行う考え。

議員H 長期的なビジョンが見えない。

事務局 新規や更新が進まない状況で申し訳ない。全ての公共施設について考えていかないといけないという方向になってきている。ただ、それがなかなか進まない。検討が少しずつ始まっているという状態。

クラブと地域移行について、徐々に団体の方からお話を聞き、皆様のご意見を頂きながらできれば進めたい。その時はご協力を頂きたいと思います。

5 閉会